

教科	科目	学年	単位数
外国語	英語探究Ⅲ	3年(一貫一般)	6
使用教科書		副教材	
Crown English Communication Ⅲ (桐原書店) (高校英語の復習や発展的事項に関する内容のもの)		英単語ターゲット1900(旺文社) Next Stage (桐原書店)	

1. 学習到達目標

- 1 = 各素材から様々な文化、経済、歴史、風習、伝記等を英語で学び取りながら英語への関心を喚起し、
- 2 = 英語を読み、書き、聞き、話す等のさまざまな言語活動を通じ、英語の運用の「基礎」となる精読力、速読力、構造理解力、解釈力、文法力、聴解力、語彙力、解答力等を演習形式を主体に学びながら、
- 3 = 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。

2. 評価

1 = 能力(=ability) 2 = 姿勢(=attitude)

を定期試験、課題テスト、各種テスト(朝テスト、音読テストなど)、模擬試験、提出物、学習姿勢、学習意欲、授業態度等を基準に総合的に評価する(よって、定期試験が同点の生徒同士でも評価が異なることがある)。

3. 学習内容

用いる素材の内容の解釈(右ページの進度予定表を参照)に加えて、全学習活動を通して以下の学習項目をその都度登場するごとに扱う。

1 = 語彙に関する事項: 英語探求Ⅱ(R、W)の全単語に加え700語程度の新語(3年計3000語)。

2 = 文構造に関する事項: 文構造のうち運用度の高いもの。

3 = 文法に関する事項: 以下の文法事項の基礎、標準項目。

A: 時制(基本時制、完了時制、進行形、完了進行形等)

B: 助動詞(基本形、助動詞+完了形、助動詞+受動態等)

C: 態(能動態と受動態の基本形、それぞれの完了形、それぞれの進行形、それぞれの完了受動形等)

D: 不定詞(基本形、形式主語、形式目的語、完了不定詞、受動不定詞、否定不定詞、完了受動不定詞等)

E: 動名詞(基本用法、完了動名詞、受動動名詞、否定動名詞、完了受動動名詞等)

F: 分詞(現在分詞と過去分詞の基本用法、限定用法、叙述用法、各種の分詞構文等)

G: 接続詞(等位接続詞、従属接続詞等)

H: 関係詞(関係代名詞、関係副詞、限定用法、継続用法、複合関係詞等)

I: 比較(同級、比較級、最上級の基本、否定比較、比較の応用等)

J: 仮定法(仮定法過去、仮定法過去完了、仮定法未来、仮定法現在等)

K: 特殊構文やその他の事項(強調、部分否定、倒置、省略、代名詞、名詞、冠詞等その他の事項)

* 授業内でオンライン英会話によるスピーキング・トレーニングも実施する。

4. その他(科目の特徴や学習の注意点など)

学習方法の詳細(ノートのとおり方、宿題の仕方、授業の受け方等)については各担当者からその都度説明が

あるのでそれに従うこと。

	月	単元	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
1 学期	4	Review of the last year	Crown English Communication IIIの復習	1＝学習のポイント この科目では英語を言語の4技能に基づき「演習」を主体に総合的に扱います。ただし、それらを主に演習というスタイルで行いますので問題を解くときは「集中」して解いてください。
	5	時代性や社会性等を反映したその時々 に適合する中で英語探求の復習及び発展的 事項に連動する素材を大学 入試問題、各種検定試験、 英字新聞等から適宜取り上 げる。	人文科学、社会科学、自然科学 等の各分野における英語素材 やさまざまな文法事項及び文 構造等を、音声言語活動を適宜 まじえながら「演習」を中心 にして扱う。	2＝朝テスト（詳細別紙） 英語探求IIIに併せて行います。
	6			3＝到達目標学力 CEFR=B1
	7			*1年を通じての学習姿勢として 「英語の学習＝毎日のごはん」です。みなさんは1日 ご飯を食べなかったり、1週間分をまとめて食べたり したらおなかをこわしてしまいます。英語も同じで す。何も学習しない日があったり、まとめて1週間分 学習してしまう日があったりするような学習スタイル ではいけません。毎日適量の学習を継続してくださ い。要は、～毎日・適量・継続～です。英語をぜひ得 意科目にしてください。
2 学期	8			
	9	以下、大学入試対策。	大学入試問題演習。	
	10			
	11			
3 学期	12			
	1			
	2			
	3	*下線を施した月には定期 試験が予定されている。		

*当シラバスは生徒の現状や実態等に配慮しながら変更することがある。また科目の目的を達成するために必要と思われる時はテキスト以外の教材に差し替えることがある。